

# 平成 22 年度 事業報告

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

社団法人日本建築板金協会

## I. 概況

100 年に一度と言われた世界的な大不況の波にさらされ、受注価格の異常な下落や後継者不足による組合員の減少などかつてない厳しさが続いた状況に追い打ちをかけるがごとく東日本大震災が発生し、我が国は戦後最大と言っても過言ではない試練の時期（とき）を迎えた。いまや当業界がこの試練を乗り越えることは日本が試練を乗り越えることになる情勢になったと言い換えることもできよう。

このような状況下、本会は創立 40 周年の大きな節目を迎え、11 月 26 日に「自由民主会館」において記念式典・祝賀会を執り行い、建築板金業振興議員連盟の石破茂会長、谷垣禎一自由民主党総裁をはじめとする諸先生方をはじめ関係機関・企業など多くの方々にご臨席を賜った。これは建築板金業界に対する期待の大きさをあらためて示したものとと言える。

このような社会情勢を背景としながら様々な課題を克服し、組合員の利益確保を念頭に置いた事業を既存の概念などに捉われることなく推進し、全日本板金工業組合連合会と連携を図りながら下記に掲げた重要方針を中心に事業を展開した。

### <平成 22 年度 重要方針>

1. 登録建築板金基幹技能者制度の推進（特例講習、新規講習）
2. 指導事業及びリファイン工事（青木茂建築工房）の継続展開
3. 国や国会議員（議連）、賛助会員、関連メーカー等の外部機関との連携の継続的な強化
4. 指定商品の継続展開及び新たな指定商品の模索
5. 太陽光発電など、国の施策と同期した事業への先行的な取り組み

取り組み開始から 9 年目を迎えた指導事業は下地が整うに伴って着実な実績を残しており、指定商品についても事業収入の減少への対応策の一つとして積極的な推進を継続した。

リファイン工事（青木茂建築工房）は指導事業との連携も含めた実績を残している。

建築板金業振興議員連盟は石破茂会長の下、国会議員との連携を密に図り、創立 40 周年記念行事の際には谷垣禎一自民党総裁の出席を得た。

賛助会員については昨年に引き続き意見交換会を開催。各会員企業に対しては当会の組織を十分に活用してもらうことを訴え、そのための土壌を提供してきた。

指定商品はほぼ事業計画通りの推進状況であったが、新商品の検討を含めさらなる事業推進を図ることが必要となる。

ホンダソルテック社の太陽光発電では、二級電気工事士取得の講習会開催でライセンス取得のための機会を組合員に提供した。実績を積み上げていきたい時期に来ている。

## Ⅱ. 庶務事項

### 1. 会議の開催

#### (1) 総会 (1回)

回数	期日	会場	主な議決事項
第40回 通常総会	5.12	石川県 「金沢エクセル ホテル東急」	①平成21年度事業報告、収支決算について可決承認 ②平成22年度事業計画、収支予算、会費の徴収方法について可決承認 ③平成22年度借入金の最高限度額について可決承認 ④社団法人から一般社団法人への移行について可決承認

#### (2) 理事会 (4回)

回数	期日	会場	主な議題
第1回	4.22	東京都 「板金会館」	①第40回通常総会への上程議案について ②第62回全国建築板金業者石川大会の準備について 等
第2回	7.21	東京都 「板金会館」	①総会・全国大会の検証及び次回大会の準備について ②理事会直轄事業に関する件について 等
第3回	11.10	東京都 「板金会館」	①上半期の決算状況と年度末の決算予想について ②次年度の会費の件について ③今後の事業の進め方について 等
第4回	23.3.3	東京都 「板金会館」	①平成22年度収支決算見込みについて ②平成23年度収支予算案について ③太陽光発電事業について 等

#### (3) 執行部会議 (2回)

回数	期日	会場	主な議題
第1回	9.9	東京都 「板金会館」	①重要課題への対応について ②今後の事業の進め方について 等
第2回	23.1.13	東京都 「板金会館」	①平成22年度決算見込みについて ②平成23年度収支予算について 等

#### (4) 正副会長会議 (6回)

回数	期日	会場	主な議題
第1回	4.9	東京都 「板金会館」	①平成21年度事業報告及び収支決算について ②平成22年度収支予算案について ③石川大会について 等
第2回	7.6	東京都 「板金会館」	①総会、石川大会の検証 ②理事会直轄事業について 等
第3回	10.7	東京都 「板金会館」	①今後の事業の進め方について 等
第4回 (臨時)	12.16	東京都 「板金会館」	①全板連グループ事業の検証 ②日板協40周年収支報告 等
第5回	23.2.16	東京都 「板金会館」	①平成22年度決算予想について ②平成23年度予算案について ③太陽光発電事業について 等
第6回 (臨時)	3.26	東京都 「板金会館」	①東日本大震災について ②全板連グループの災害管理体制について 等

#### (5) 全国理事長連絡会議 (1回)

回数	期日	会場	主な議題
第1回	11.26	東京都 「自民党会館」	①専門事業からの事業報告及び質疑応答について ②重要な報告及び要請事項への協力依頼について 等

#### (6) その他の会議

##### ①賛助会員意見交換会 (1回)

回数	期日	会場	主な議題
第5回 (通算)	23.1.13	東京都 「牡丹」	①現況報告 ②会員紹介 ③意見交換 等

## 2. 監査等

### (1) 監事による監査 (2回)

定款第15条第5項に基づく監査が下記の通り行われた。

回数	期日	会場	主な内容
第1回	4.17	東京都 「板金会館」	平成21年度決算関係書類の監査について
第2回	10.22	東京都 「板金会館」	平成22年度中間期の収支決算報告と監査について

### 3. 会員組合及びブロック協議会との連携（抜粋）

期日	行事名	場所	出席者
4. 11	西部ブロック 通常総会	京都府	勝又会長、柴田専務
4. 21	中部ブロック 通常総会	静岡県	〃
4. 23	関東甲信越ブロック 通常総会	新潟県	〃
4. 26	九州ブロック 通常総会	福岡県	勝又会長、柴田専務 他
5. 7	北海道板金工業組合 通常総会	北海道	勝又会長、柴田専務
5. 26	東北ブロック 通常総会	秋田県	〃
6. 19	四国ブロック 通常総会	徳島県	〃
7. 20	全国板金業国民健康保険組合 創立 40 年	東京都	柴田専務、新井局長
8. 25	関東甲信越ブロック 臨時常任理事会	東京都	柴田専務
10. 15	北海道板金工業組合・同青年部 創立 10 年	北海道	勝又会長、柴田専務、 永井青年部長
10. 24	九州ブロック青年部 第 8 回研修会	熊本県	柴田専務、永井青年部長
11. 13～14	西部ブロック 役職員及び青年部研修会	大阪府	勝又会長、柴田専務
H23. 1. 29	磯野恒夫氏 黄綬褒章受章祝賀会	千葉県	勝又会長、柴田専務 他
2. 24	千葉県板金大会	千葉県	柴田専務
3. 31	新卒者就職応援プロジェクト推進会議	石川県	柴田専務

#### 4. 関係諸団体との連携（抜粋）

期日	行事名	場所	出席者
4.14	基幹技能者制度推進協議会 分科会	振興基金	新井局長
4.20	石破茂代議士 石川大会打合せ	議員会館	勝又会長、柴田専務
5.17	建専連・才賀会長ほか会談	板金会館	柴田専務理事
5.18	建設産業共同教育訓練協議会 全国建設産業教育訓練協会 通常総会	校友会館	〃
5.25	建災防 危険性・有害性等の調査標準モデル 教材作成委員会（板金工事業）WG 委員会	東京機械 製作所	〃
5.26	抛出団体専務理事・事務局長会議	振興基金	新井局長
5.27	優秀施工者国土交通大臣顕彰 式典	メルパルク	小林課長、山口職員
6.1	建専連 通常総会及び総会	校友会館	柴田専務
6.10	建設業振興基金 建設産業情報化推進センター団体連絡会	浜離宮 建設プラザ	新井局長
6.14	全技連 通常総会	明治記念館	小林課長
6.14	中央職業能力開発協会 第40回理事会／第31回通常総会	〃	〃
6.23	建設関係公益法人協議会 通常総会	校友会館	柴田専務
6.30	国土交通省ヒアリング	振興基金	新井局長
7.9	建築施工管理技術検定委員会	国土交通省	石本副会長
7.12	国土交通大臣表彰（山下博理事）表彰式	〃	小林課長、山口職員
7.13	建災防 専門工事業者安全管理活動等促進 事業 板金 WG 委員会 現場実態調査	清瀬市市民 センター	磯野理事、柴田専務、 山田理事長（埼玉）
7.28	国土交通省本省との意見交換会	校友会館	柴田専務
11.12	黄綬褒章伝達式（大谷善三郎理事）	国土交通省	小林課長、山口職員
11.16	建専連 全国大会	ニッショー ホール	山口職員
H23.1.11	高齢・障害者雇用支援機構 セミナー	日本通運 本社	新井局長
1.16	建築施工管理技術検定委員会	国土交通省	小林課長
1.19	建設業の連携によるフロンティア事業説明会	浜離宮 建設プラザ	新井局長

## 5. 第 62 回全国建築板金業者石川大会の開催

全国建築板金業者大会を下記の通り開催した。

期 日	平成 22 年 5 月 12 日 (木)
会 場	石川県金沢市袋島町南 193 「石川県産業展示館」3 号館 (式典) 2 号館ほか (展示)
参加者数	4,000 名
前 夜 祭	石川県金沢市香林坊 2-1-1 「金沢エクセルホテル東急」

主な来賓 (順不同・敬称略)

	機関名	氏名
本 部 来 賓	建築板金業振興議員連盟	石破 茂 (衆議院議員／議連会長) 平田耕一 (前衆議院議員)
	国土交通省	島田浩和 (建設市場整備課)
	経済産業省	片桐信三 (住宅産業窯業建材課)
	厚生労働省	田口 勲 (能力評価課)
	関連団体、メーカー、 商社ほか	計 70 名
地 元 来 賓	国会議員	岡田直樹 (参議院議員／議連議員) 奥田 健 (衆議院議員)
	石川県知事	谷本正憲
	石川県議会議長	藤本義弘 (前夜祭)
	金沢市副市長	須野原雄
	行政、メーカー 商社 ほか	計 29 名
		合計 106 名

<参考> 今後の開催地

第 63 回大会 (平成 23 年度)	青森県
第 64 回大会 (平成 24 年度)	山梨県
第 65 回大会 (平成 25 年度)	北海道
第 66 回大会 (平成 26 年度)	千葉県
第 67 回大会 (平成 27 年度)	大分県

## 6. 創立 40 周年記念式典・祝賀会の開催

創立 40 周年記念式典・祝賀会を下記の通り開催した。

期 日	平成 22 年 11 月 26 日（金）
会 場	東京都千代田区永田町 1-11-23 「自由民主党会館・901 号室」
出席者数	130 名（主催者含む）

主な来賓・出席者（順不同・敬称略）

	氏名（役職）
議連 国会議員	石破 茂（衆議院議員／議連会長） 長勢甚遠（衆議院議員／議連副会長） 谷垣禎一（衆議院議員／自由民主党総裁） 津島雄二（前衆議院議員／前議連会長） ほか加入議員
所管省	小野 正（経済産業省製造産業局住宅産業窯業建材課企画官） 井上信吾（国土交通省総合政策局建設市場整備課企画専門官）
賛助会員 関連企業 報道機関 ほか	58 名
合計	83 名

## 7. 建築板金業振興議員連盟（議連）

石破茂会長の下、各地区国会議員の強力な支援を得た。

役員 体制 （敬称略）	会 長：石破 茂（衆・鳥取県） 副会長：佐田玄一郎（衆・群馬県） 副会長：長勢 甚遠（衆・富山県）
-------------------	---

## 8. 賛助会員

意見交換会を下記の通り実施した。

期 日	平成 23 年 1 月 13 日 (木)
会 場	港区「牡丹」
出席会員 13 社  (五十音順)	株式会社オーティス
	片山鉄建株式會社
	株式会社カネカ (カネカケンテック株式会社)
	キングラン・ハウネスト株式会社
	ケイミュー株式会社
	コンフォートテック株式会社
	株式会社 JSP
	セメダイン株式会社
	株式会社タニタハウジングウェア
	株式会社チューオー
	日新工業株式会社
	ミドリ安全株式会社
	株式会社メガテック

### Ⅲ. 実施事業

#### 1. 会員数の状況

##### (1) 年度比

###### ①正会員（各年度4月1日現在）

	21年度	22年度	増減数
会員数（組合）	46	46	±0
組合員数（事業所）	10,323	9,778	-545

###### ②賛助会員（各年度3月31日現在）

	21年度	22年度	増減数
会員数（社）	22	21	-1

※アキレス株式会社が退会

##### (2) 会員組合の組合員数の状況

「会員組合 組合員数増減一覧表」参照

##### (3) 賛助会員の状況

「賛助会員名簿（1）（2）」参照

【 組合員数増減一覧 】

ブロック	都道府県	H21年度	H22年度	増減数	増減率	ブロック	都道府県	H21年度	H22年度	増減数	増減率	
北海道 (538)	北海道	563	538	▲ 25	▲ 4.4	西部 (1619)	滋賀	102	94	▲ 8	▲ 7.8	
	東北 (1471)	青森	282	261	▲ 21		▲ 7.4	京都	231	215	▲ 16	▲ 6.9
岩手		266	245	▲ 21	▲ 7.9		大阪	347	336	▲ 11	▲ 3.2	
秋田		226	215	▲ 11	▲ 4.9		奈良	59	58	▲ 1	▲ 1.7	
山形		274	259	▲ 15	▲ 5.5		兵庫	237	230	▲ 7	▲ 3.0	
宮城		271	245	▲ 26	▲ 9.6		和歌山	72	71	▲ 1	▲ 1.4	
福島		252	246	▲ 6	▲ 2.4		岡山	88	83	▲ 5	▲ 5.7	
関東 甲信越 (2670)	茨城	201	201	0	0.0		広島	200	186	▲ 14	▲ 7.0	
	栃木	170	160	▲ 10	▲ 5.9		鳥取	101	96	▲ 5	▲ 5.0	
	群馬	200	200	0	0.0		島根	137	133	▲ 4	▲ 2.9	
	千葉	189	180	▲ 9	▲ 4.8		山口	122	117	▲ 5	▲ 4.1	
	埼玉	181	166	▲ 15	▲ 8.3		四国 (346)	香川	132	114	▲ 18	▲ 13.6
	東京	539	506	▲ 33	▲ 6.1			徳島	39	37	▲ 2	▲ 5.1
	神奈川	290	280	▲ 10	▲ 3.4			愛媛	125	102	▲ 23	▲ 18.4
	山梨	82	80	▲ 2	▲ 2.4			高知	96	93	▲ 3	▲ 3.1
	長野	405	357	▲ 48	▲ 11.9		九州 (819)	福岡	261	250	▲ 11	▲ 4.2
新潟	570	540	▲ 30	▲ 5.3	佐賀	106		99	▲ 7	▲ 6.6		
中部 (2315)	静岡	370	340	▲ 30	▲ 8.1	長崎		91	86	▲ 5	▲ 5.5	
	愛知	598	576	▲ 22	▲ 3.7	大分		88	85	▲ 3	▲ 3.4	
	岐阜	349	338	▲ 11	▲ 3.2	熊本		120	124	4	3.3	
	三重	200	184	▲ 16	▲ 8.0	宮崎		98	90	▲ 8	▲ 8.2	
	富山	402	398	▲ 4	▲ 1.0	鹿児島	89	85	▲ 4	▲ 4.5		
	石川	241	226	▲ 15	▲ 6.2	合計		10323	9778	▲ 545	▲ 5.3	
	福井	261	253	▲ 8	▲ 3.1							

※増減は平成21年4月1日と比較

※小数点以下四捨五入

社団法人日本建築板金協会 賛助会員名簿 (1)

(順不同)

名称	所在地	TEL/FAX
塩ビ雨樋協会	〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東都ビル	TEL : 03-3408-4342 FAX : 03-3403-6990
ケイミュー株式会社	〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見 1-2-27 クリスタルタワー13階	TEL : 06-6945-8147 FAX : 06-6945-8071
株式会社オーティス	〒578-0955 大阪府東大阪市横枕南 5-3	TEL : 072-966-1903 FAX : 072-966-3153
株式会社日下部	〒955-0053 新潟県三条市北入蔵 3-11-25-2	TEL : 0256-38-5151 FAX : 0256-38-5153
株式会社 タニタハウジングウェア	〒174-8601 東京都板橋区東坂下 2-8-1	TEL : 03-3968-1455 FAX : 03-3968-3000
日本パワーファスニング 株式会社	〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中 1-1-90 梅田スカイビルガーデンファイブ 4階	TEL : 06-6442-0951 FAX : 06-6451-9951
片山鉄建株式会社	〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9	TEL : 03-3551-6321 FAX : 03-3551-6397
日新工業株式会社	〒120-0025 東京都足立区千住東 2-23-4	TEL : 03-3882-2424 FAX : 03-3882-4173
J F E 鋼板株式会社	〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー9階	TEL : 03-3493-1326 FAX : 03-3493-1921
株式会社メガテック	〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 1-55 シーオービル 8階	TEL : 043-302-5201 FAX : 043-302-5207
セメダイン株式会社	〒141-8620 東京都品川区東五反田 4-5-9	TEL : 03-3442-1301 FAX : 03-3442-1340

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

## 社団法人日本建築板金協会 賛助会員名簿 (2)

(順不同)

名称	所在地	TEL/FAX
月星商事株式会社	〒104-8533 東京都中央区八丁堀 4-4-2	TEL : 03-3551-2121 FAX : 03-3552-4079
株式会社太田製作所	〒271-0064 千葉県松戸市上本郷 159	TEL : 047-363-6281 FAX : 047-362-4341
興亜不燃板工業株式会社	〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1149-7	TEL : 047-450-0001 FAX : 0475-35-4702
株式会社カネカ	〒107-6025 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 26 階	TEL : 03-5574-8070 FAX : 03-5574-8135
コンフォートテック株式会社	〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 3-1	TEL : 043-377-9794 FAX : 043-246-1368
丸菱産業株式会社	〒162-0063 (東京支店) 東京都新宿区市谷薬王寺町 58-402	TEL : 03-3513-7756 FAX : 03-3513-7897
株式会社チューオー	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町 13-2	TEL : 0289-76-3261 FAX : 0289-76-3267
キングラン・ハウネスト株式会社	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-10 大手町建物須田町ビル	TEL : 03-5296-3060 FAX : 03-5207-6780
株式会社 J S P	〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-2 新日石ビル	TEL : 03-6212-6362 FAX : 03-6212-6369
ミドリ安全株式会社	〒150-8455 東京都渋谷区広尾 5-4-3	TEL : 03-3442-8281 FAX : 03-3442-8391

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

会員数 21 会員

### 3. 補助金を活用した事業

財団法人建設業振興基金の補助金を活用して以下の事業を行った。

補助事業名	実施内容
建設業振興活動事業	後継者及び基幹技能者の育成と技能・技術の継承に関する調査研究及び研修会の実施
建設産業構造改善事業	新分野進出としての太陽光発電事業に関する調査研究及び研修会の実施

### 4. 顕彰事業

下記の各顕彰に業界関係者を推薦し、その努力や功労に報いた。

#### (1) 褒章

種別	受章者（敬称略）
黄綬褒章 （平成 22 年秋）	大谷善三郎（理事・大阪府）

#### (2) 大臣表彰

種別	受賞者（順不同・敬称略）
建設事業関係功労者等 国土交通大臣表彰	山下 博（理事・三重県）
第 19 回優秀施工者 国土交通大臣表彰 （建設マスター）	木村 治（群馬県） 松井祐治（愛知県） 山本和也（大阪府） 中浦昌彦（愛媛県） 高見一弘（長崎県）

(3) 全国建築板金業者石川大会における表彰（詳細は全板連議案書を参照）

種別	受賞者数
感謝状（ブロック会長退任者）	2名
感謝状（組合理事長退任者）	8名
表彰状（組合理事長6年以上在任）	4名
表彰状（組合事務局10年以上勤務者）	1名
功労章（組合役員10年以上在任もしくは同等功績）	79名
責任施工制度推進組合表彰 （保証書発行枚数・保証書発行率）	各3組合 合計6組合
収益事業推進組合表彰 （指定商品部門・保険間関連部門）	各部門3組合 合計6組合
青年部優秀活動組合褒賞	1組合青年部

(4) その他の表彰（第32回全国建築板金競技大会上位入賞者）

種類	内容	受賞者（敬称略）
国土交通大臣賞	建築技術の部（NYAC） 第1位	北村英明（埼玉県）
厚生労働大臣賞	技能競技の部（ZIC） 第1位	佐々木剛（秋田県）
国土交通省 総合政策局長賞	建築技術の部（NYAC） 第2位	羽賀 満（新潟県）
厚生労働省 職業能力開発局長賞	技能競技の部（ZIC） 第2位	森永龍一（長崎県）
静岡県知事賞	建築技術の部（NYAC） 技能競技の部（ZIC） 第3位	諸田伸輔（群馬県）
		遠藤孝之（福島県）
富士宮市長賞	建築技術の部（NYAC） 技能競技の部（ZIC） 第4位	森川享英（大阪府）
		高橋信一（宮城県）
全国建設産業教育訓練協会 会長賞	建築技術の部（NYAC） 技能競技の部（ZIC） 第5位	勝部信生（島根県）
		浦谷晃次（京都府）

5. 専門事業

理事会直轄事業体制のもとで、それぞれ次の通り実施した。

(1) 渉外・受注開発関連事業（担当：柴田英行専務理事）

①登録建築板金基幹技能者制度の推進

平成21年3月5日付で「登録建築板金基幹技能者」の認可を得た標記制度は、特例講習を下記のとおり実施した。

特例講習の実施可能期限は平成25年3月31日までとなる。

期日	都道府県名など	受講者数（名）
4.11	愛知	55
7.16	九州ブロック	35
10.29	福島	75
11.14	群馬	16
H23.2.23	関東甲信越ブロック	42
2.27	西部ブロック（四国ブロックと合同）	18
2.27	四国ブロック（西部ブロックを合同）	16
3.5	山形	6
3.8	三重	15
	登録建築板金基幹技能者 累計 2,329 名	H22 年度 計 278 名

（参考：旧「建築板金基幹技能者」：3,210名）

また、登録基幹技能者講習委員会を2回（7月29日、10月28日）開催し、新規講習用の問題作成を行った。

②国（中央省庁）対応（責任施工制度及び基幹技能者の公的評価向上のための活動）

所管である国土交通省や経済産業省を中心に、各種会合や依頼を受けたヒアリングへの対応などを行った。

③建築板金業振興議員連盟（議連）対応

石破茂会長の下、多くの加入議員、谷垣禎一自民党総裁の出席を得て総会が開催され、業界として自由民主党の早期政権奪取を要望した。

④関連機関対応

建設産業専門団体連合会（建専連）が開催した各地方整備局幹部との意見交換会には従来通り各ブロックから出席対応を行い、同連合会から依頼を受けたアンケート調査などに対応した。

その他の団体（財建設業振興基金など）についても定期的な会合への出席、各種アンケート調査への協力、あるいは行事等における協力などを行って連携を図った。

⑤指導事業の継続展開、リファイン工事と国の耐震補強工事との関連事業の画策

指導事業は従来同様の活動を継続し、リファイン工事などの実績を残した。

耐震補強工事などの公共事業費が事業仕分けにより削減されたため、計画していた活動が制約された。

⑥メーカー、商社との連携

鋼板メーカー個別対応での活動が中心となり、メーカー、商社各社を個別訪問して全国大会などへの従来以上の協力を依頼し、全ての大会参加者へ配布する紙袋の提供（日新製鋼グループ）を受けるなど連携の強化を図った。

⑦賛助会員との連携

通算5回目となる意見交換会を平成23年1月13日に開催した。

会員数はアキレス株式会社の退会に伴い合計21社となった（年度末時点）。

(2) リフォーム関連事業(担当：山田和夫理事)

①リフォーム事業推進における鋼板メーカー各社との連携

(前項⑥参照)

「ファインスチール事業」については事実上営業活動が停止されているため、各企業との個別連携を継続した。

②業界で対応可能なリフォーム事業の模索

リフォーム事業の進め方の一つとして、各自治体におけるリフォーム工事への助成金制度について調査し、板金新聞などで情報を提供する。

### (3) 商品開発関連事業（担当：磯野恒夫理事）

#### ①指定商品事業の推進

「全板連ルーフィング」（日新工業株式会社）  
「コーキング剤」「接着剤」（セメダイン株式会社）  
「ソーラー換気棟」（株式会社太田製作所）：全板興業との連携

各指定商品について、一層の推進及びてこ入れを図るべく各社との連携を従来に増して密にした上、前年度同様に各組合に「目標数字」を設定して推進した。

本事業による収益は重要な財源で会費値上げの抑制にもなっており、各組合には本事業の重要性を認識していただき推進を図っていく。

#### ②太陽光発電事業

ホンダソルテックとの連携を継続した。

I D取得要件のひとつである第二種電気工事士の国家試験対策として、富士教育訓練センターと共催して講習会を年度内2回開催（5月、H23.3月）し、2事業所2名（京都、山梨各1）が受講した。

第三勢力が本腰を入れ始める前に、当業界が積極的に取り組まないと太陽光発電事業は他業種のものになる懸念が十分に予測される状況が続いていると思われるため、各組合指導者はそれらの状況を十分に認識して取り組んでいただきたい。

また、I D取得に関して当業界からの要望に柔軟な対応をみせるホンダソルテック社に対しても実績を含む結果を早期に示していくことが望まれる。

#### (4) その他

公益法人制度の改革に伴う「一般社団法人」への移行について、総会において移行作業に着手すること、申請手続き及びその時期は理事会に一任することで全会員の承認・決定を得た。

今後は顧問税理士の指導の下、申請作業を行っていく。

## 6. 青年部事業

下記の行事を中心に、関連機関との折衝や関係役員・職員の派遣などを行った。

### ①総会

行事名	期日	会場	参加者数
第 35 回通常総会	6. 13	秋田県 「秋田アトリオン」	64 名

※前日の 12 日には同会場で「第 11 回全国青年部部長会議」を実施し、意見交換会などを行った。

### ②あすなる研究会

行事名	期日	会場	参加者数
第 30 回あすなる研究会 in 兵庫	9. 12～13	兵庫県 「チサンホテル神戸」	162 名

### ③競技大会

行事名	期日	会場	参加者数
第 33 回 全国建築板金競技大会	23. 2. 12～13	静岡県 「富士教育訓練センター」	選手 61 名 付添 38 名 計 99 名

## 7. 関連諸機関との連携

### (1) 国土交通省

第 62 回全国建築板金業者石川大会において担当官の派遣や建築板金資材機械工具展示会への後援名義を得た。

全国建築板金競技大会において大臣賞・局長賞や後援名義を得た。

### (2) 経済産業省

第 62 回全国建築板金業者石川大会において大臣祝辞、担当官の派遣や建築板金資材機械工具展示会への後援名義を得た。

### (3) 厚生労働省

第 62 回全国建築板金業者石川大会において担当官の派遣や建築板金資材機械工具展示会への後援名義を得た。

全国建築板金競技大会において大臣賞・局長賞や後援名義を得た。

### (4) その他

月例の会議等に参加して関連諸機関との連携を図った。

(5 ページ 4. 関係諸団体との連携 を参照)